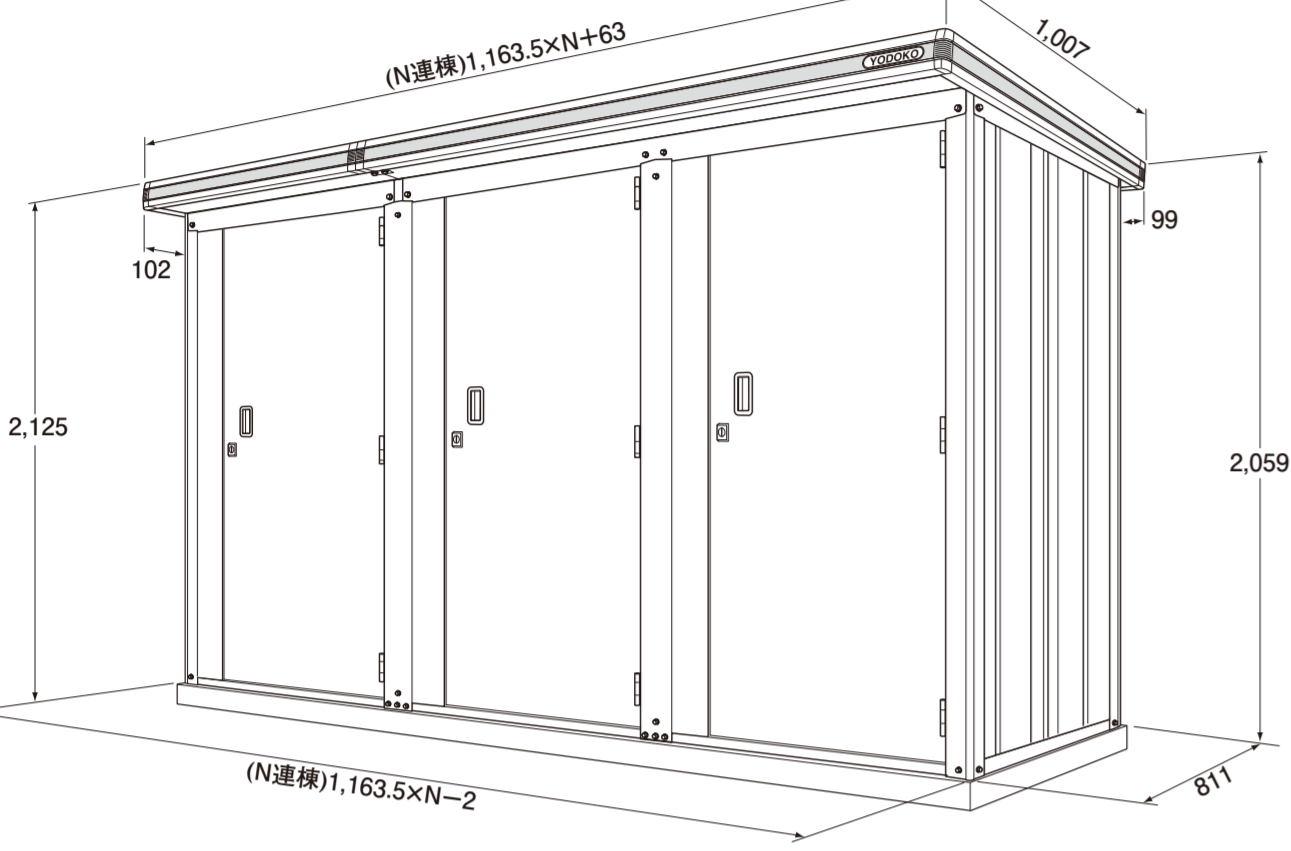


ヨド物置 エルモ 連続型

組立説明書 LLD(U)-1108型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」を必ずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡してください。

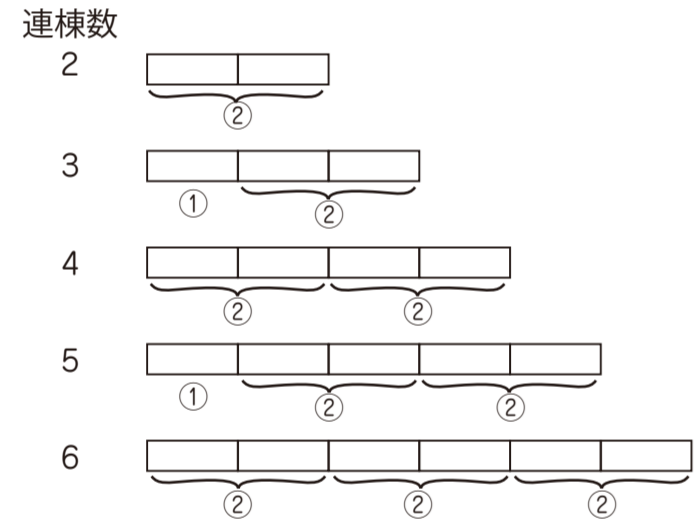
※この組立説明書は「1108×3連続」の絵で説明していますが、何連続でも手順は同じです。
「梱包組合せ表」「梱包内容表」「基礎施工例(参考図)」については、別紙をご確認ください。
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者にご依頼ください。)



鍵は部品箱の中に入っています。

注意 本機種の前後材(下枠前、下枠後、上枠前、上枠後、鼻隠し前、鼻隠し後)は単棟用と2連続用で構成されており、連続数に応じてその組み合わせが異なりますので、施工前に下図を御確認ください。

<前後材の組合せ> ①:単棟用部材 ②:2連続用部材



※奇数連続の場合は①が1か所入ります。①はどこでも施工可能ですが、梱包の組合せは正面向かって左端を①として設定しています。

●設置場所の制限

△注意

- 1.建物の屋上には設置しないでください。
- 2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 4.崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 5.給湯器の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

- 1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
- 2.ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 3.部材は、全て鋼製です。手で手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
- 5.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 6.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 7.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

●施工時の注意点

△注意

- 1.まずご注文通りの商品かどうかを別紙の梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
- 2.部材の共通化のため、実際には使用しない孔の空いている部材がありますが、説明書に従って組み立ててください。
- 3.部材名称の左右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組み立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を調整してください。
- 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)

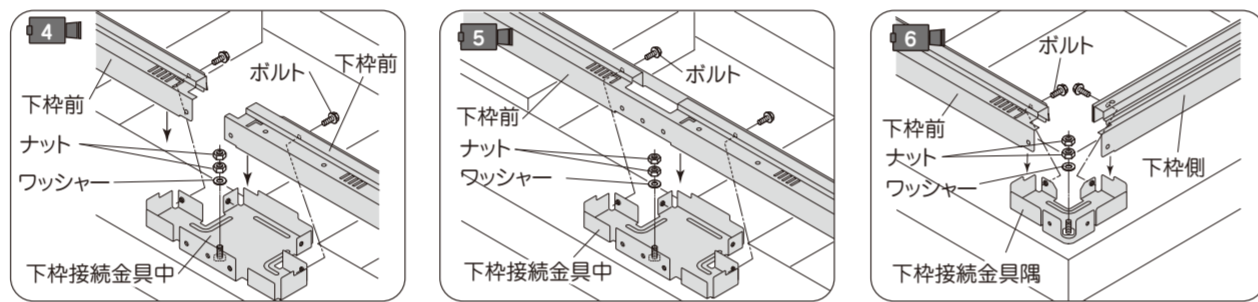
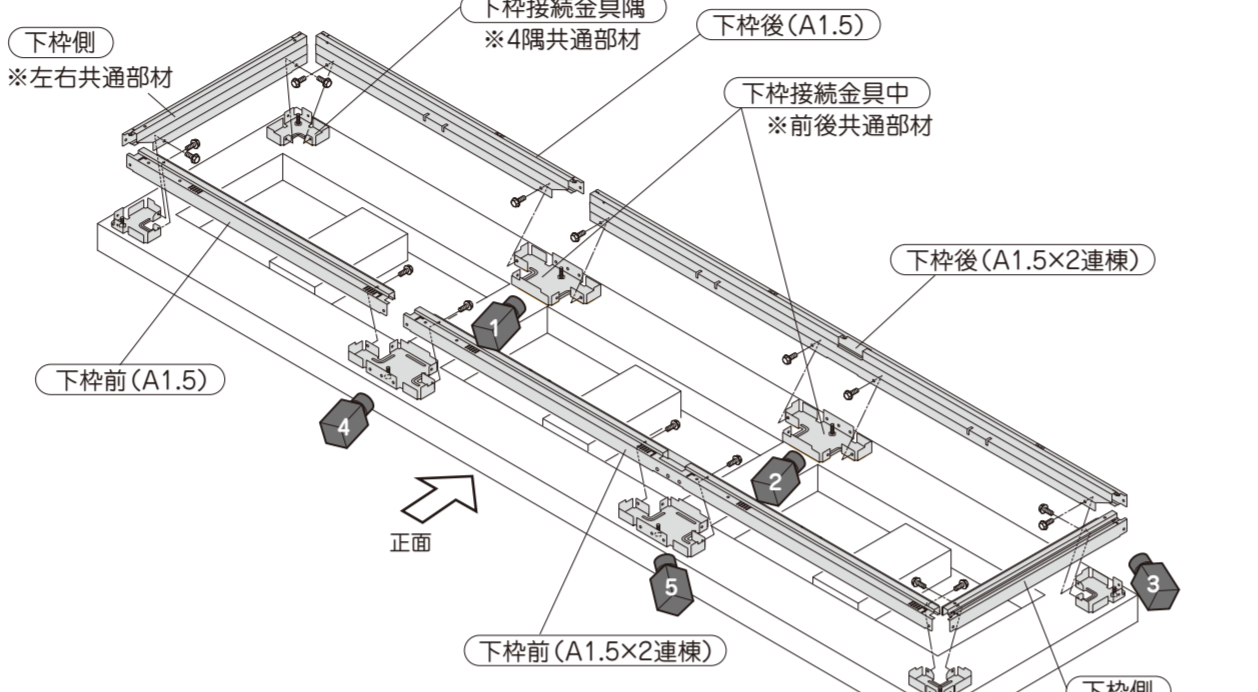
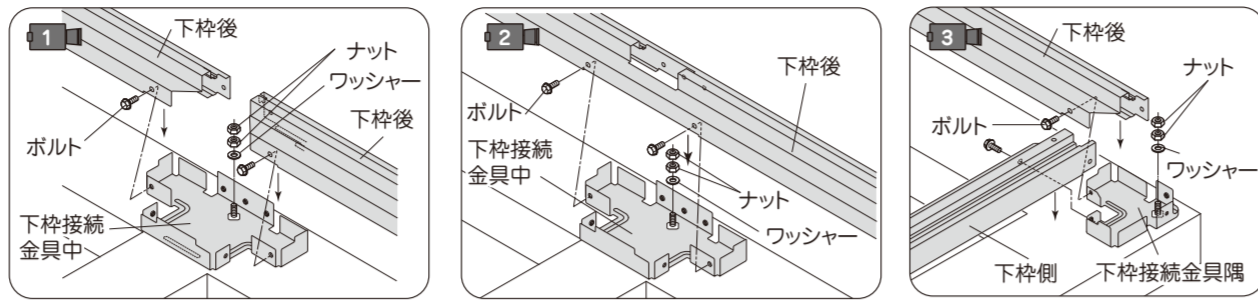
・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6ボルト、アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキーペンチ等工具
・+ドライバー ・-ドライバー ・ハンマー ・W1/2用アンカーボルト ・ナット ・ワッシャー

●使用ビス(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)



1 下枠接続金具・下枠前後・側の組立

- ① 下枠接続金具隅・下枠接続金具中 のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャーとナット×2で固定します。
- ② 下枠前・下枠後・下枠側 を上からかぶせてボルト止めします。



拡大図は全体図のカメラ からの視点から見た図になっています。

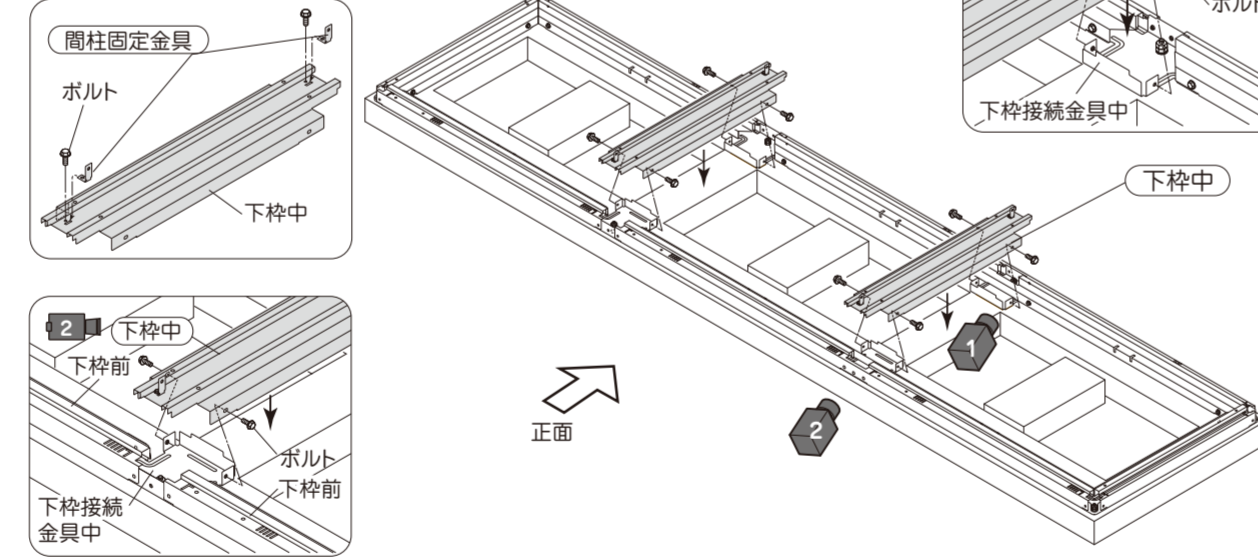
注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。基礎の水平が出ていないとドアがスムーズに開閉しなかつたり鍵がかかりにくくなったりします。

2 下枠中の取付け

- ① 間柱固定金具 を(下枠中)の前後2ヶ所に差込み、ボルトで固定します。
- ② 下枠中を下枠接続金具中の上からかぶせて、ボルトで固定します。
下枠中の前後を間違えないようにしてください。

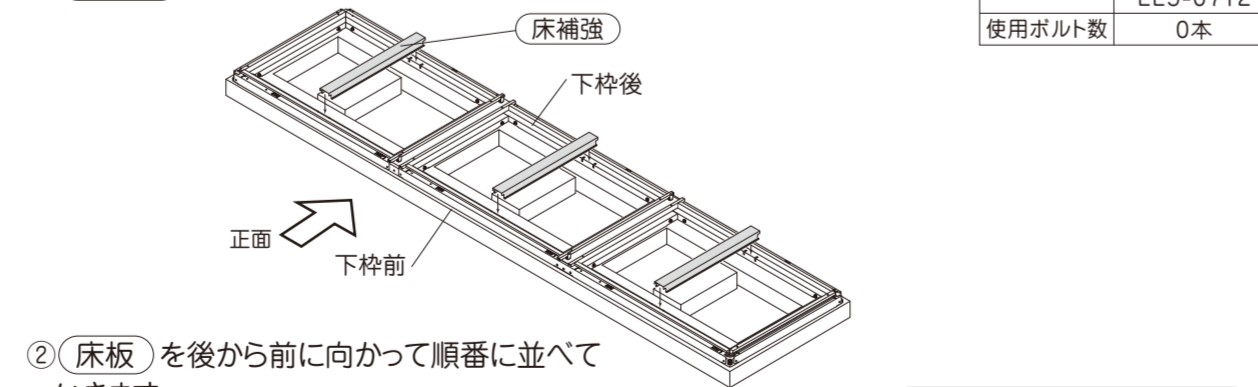
(ラベルを確認してください。)

孔が合いにくい場合は、アンカーボルトを緩めて直角・平行を出し直してください。

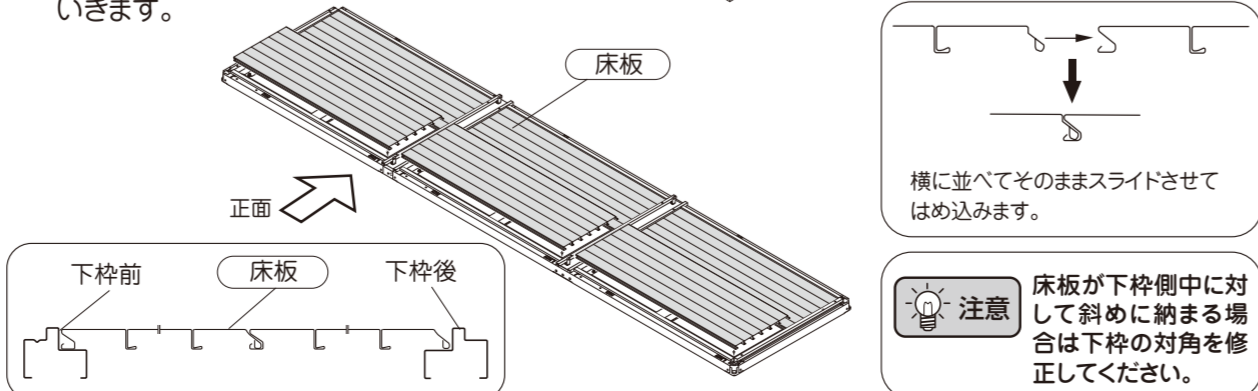


3 床の設置

- ① 床補強 を下枠前・下枠後の切欠き差し込んで取り付けます。



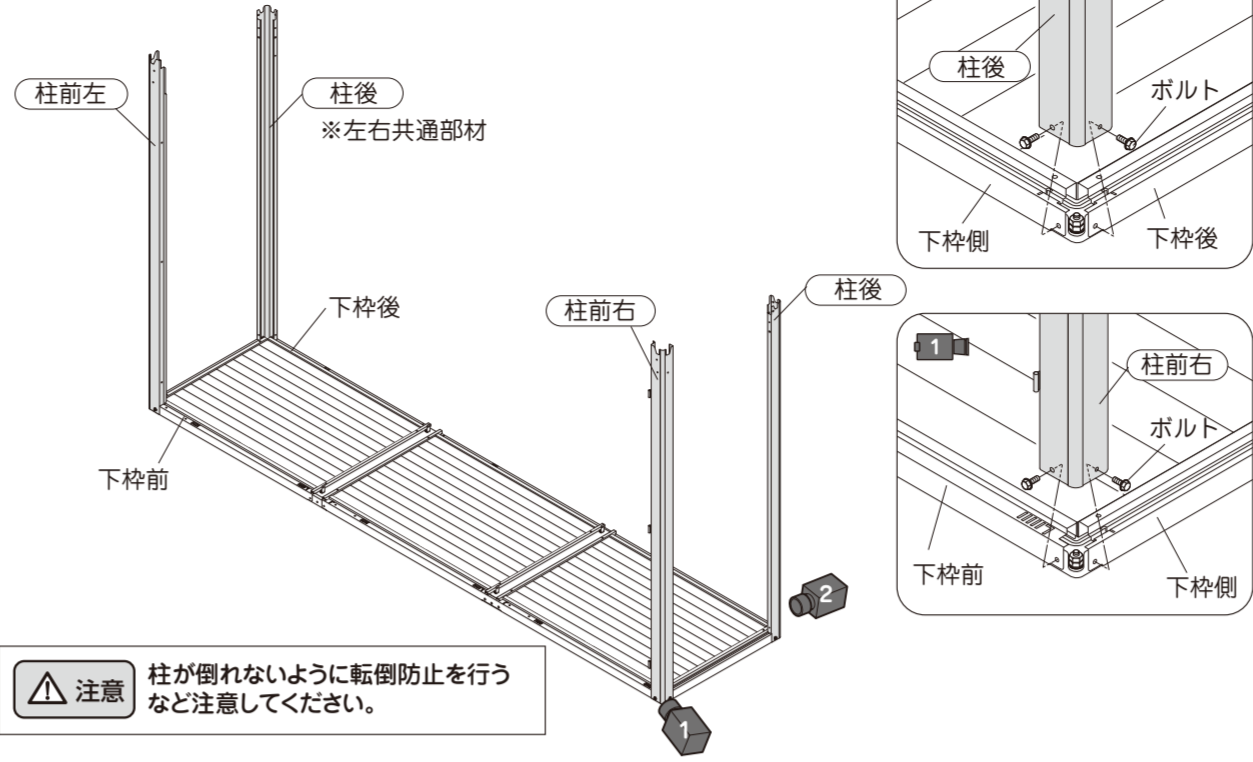
- ② 床板 を後から前に向かって順番に並べていきます。



注意 床板が下枠側中に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

4 柱の取付け(1)

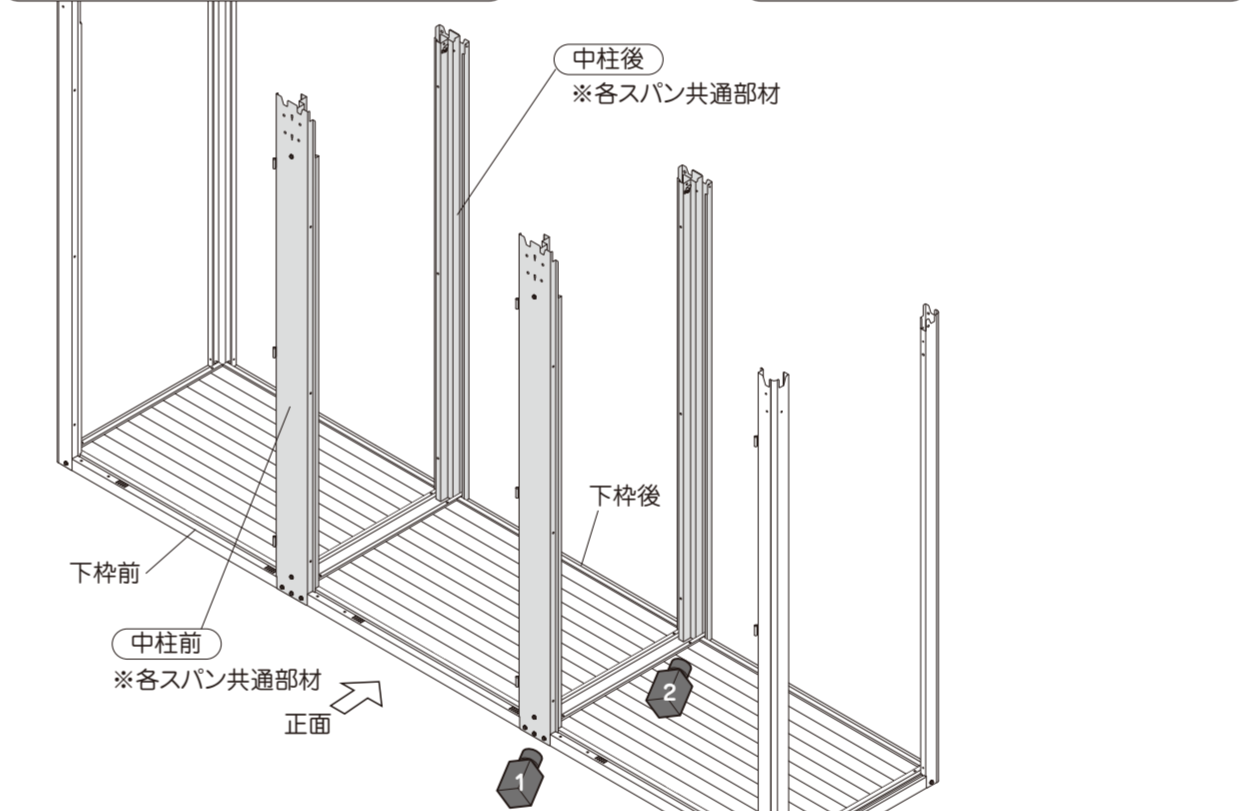
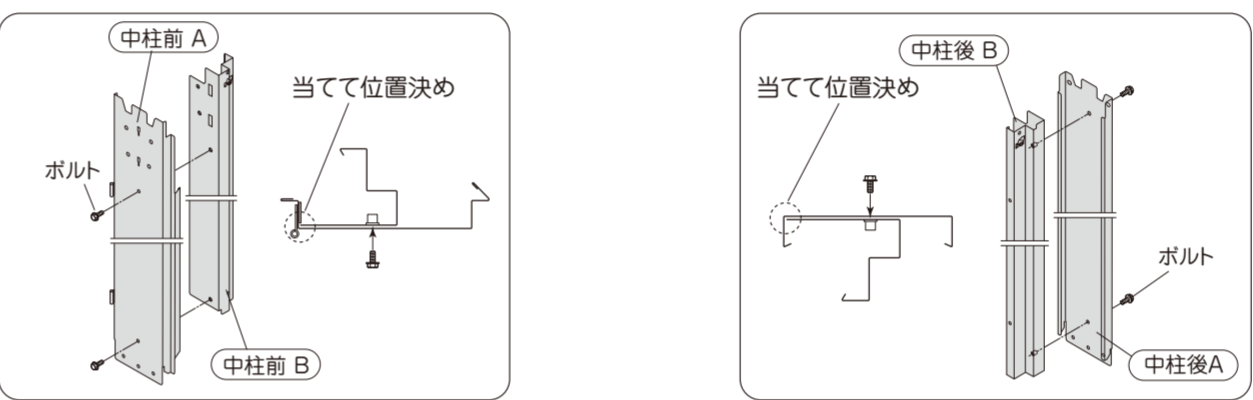
- ① 柱前右・柱前左・柱後 を下枠の4隅の切欠き差し込んでボルト止めします。



注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

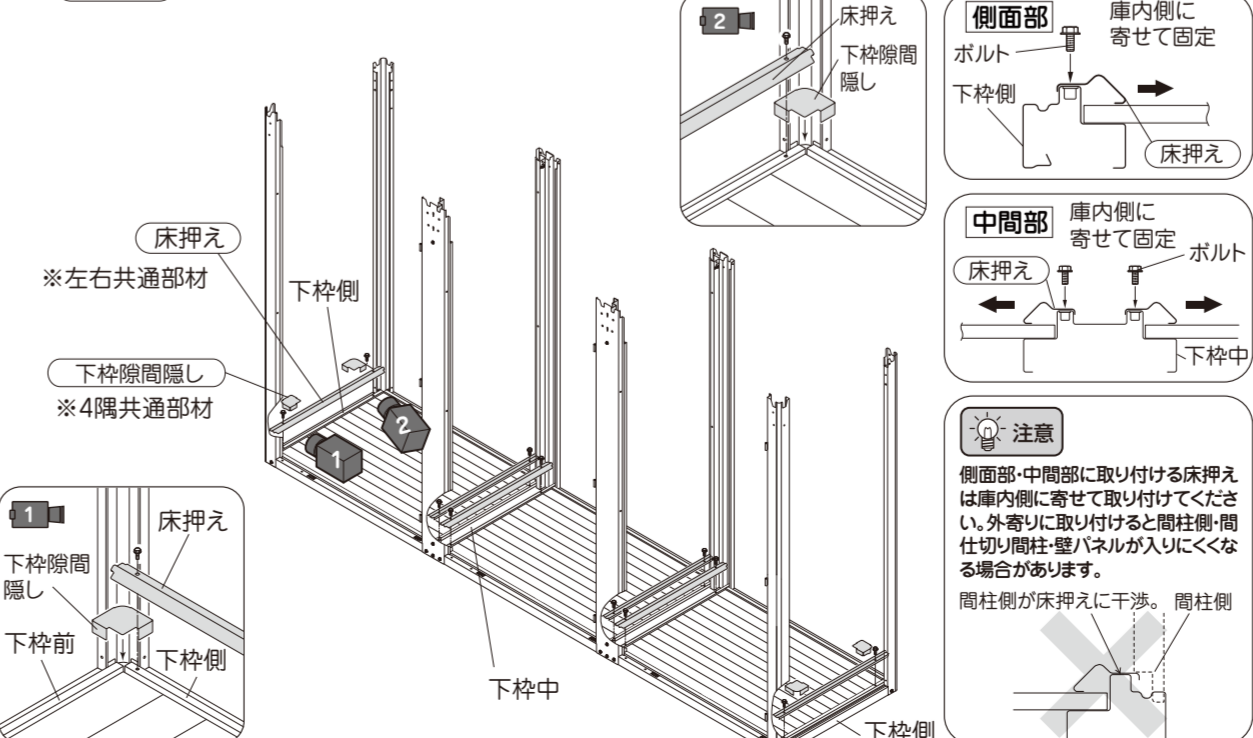
4 柱の取付け(2)

- ① 中柱前 A と 中柱前 B をボルトで固定し、中柱前とします。
- ② 中柱後 A と 中柱後 B をボルトで固定し、中柱後とします。
- ③ 中柱前・中柱後を、間柱固定金具および下枠にボルトで固定します。



5 下枠隙間隠し・床押えの取付け

- ① 下枠隙間隠し を柱前左・柱前右・柱後の根本に設置します。
- ② 床押え を下枠側・下枠中に取り付けます。



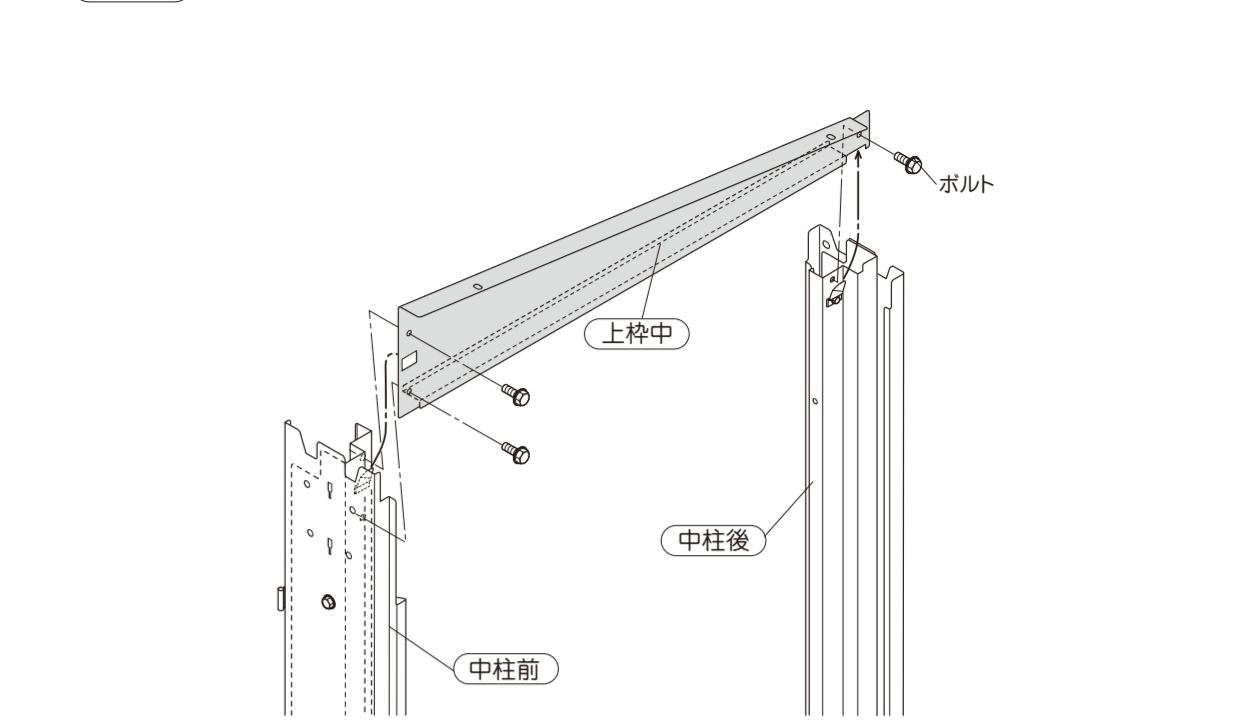
使用梱包 LL5-0106 LL5-0351 LL5-0372
使用ボルト数 12本

側面部 庫内側に寄せて固定
中間部 庫内側に寄せて固定

注意 側面部・中間部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取り付けてください。外寄りに取り付ける間柱側・間柱切り間柱・壁パネルが入りにくくなる場合があります。間柱側が床押えに干渉。間柱側

6 上枠中の取付け

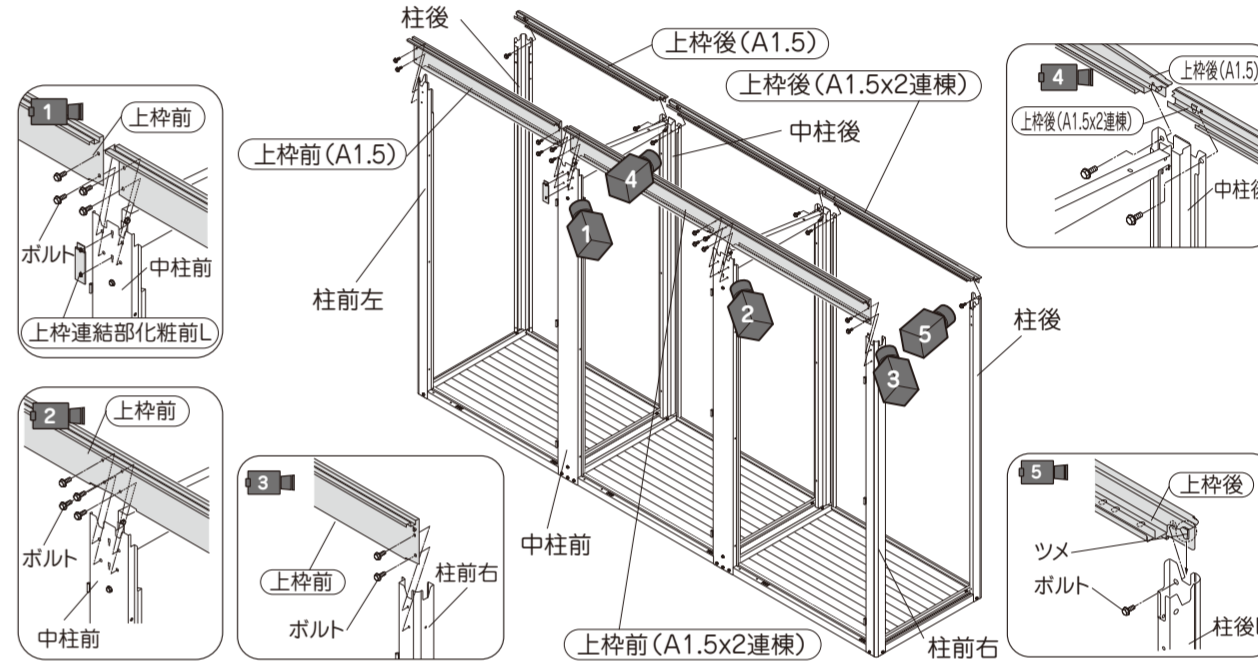
- ① 上枠中 を中柱前および中柱後のツメに引掛けて一時預けし、ボルトで固定します。



使用梱包 LL5-0332
使用ボルト数 6本

7 上枠前後の取付け

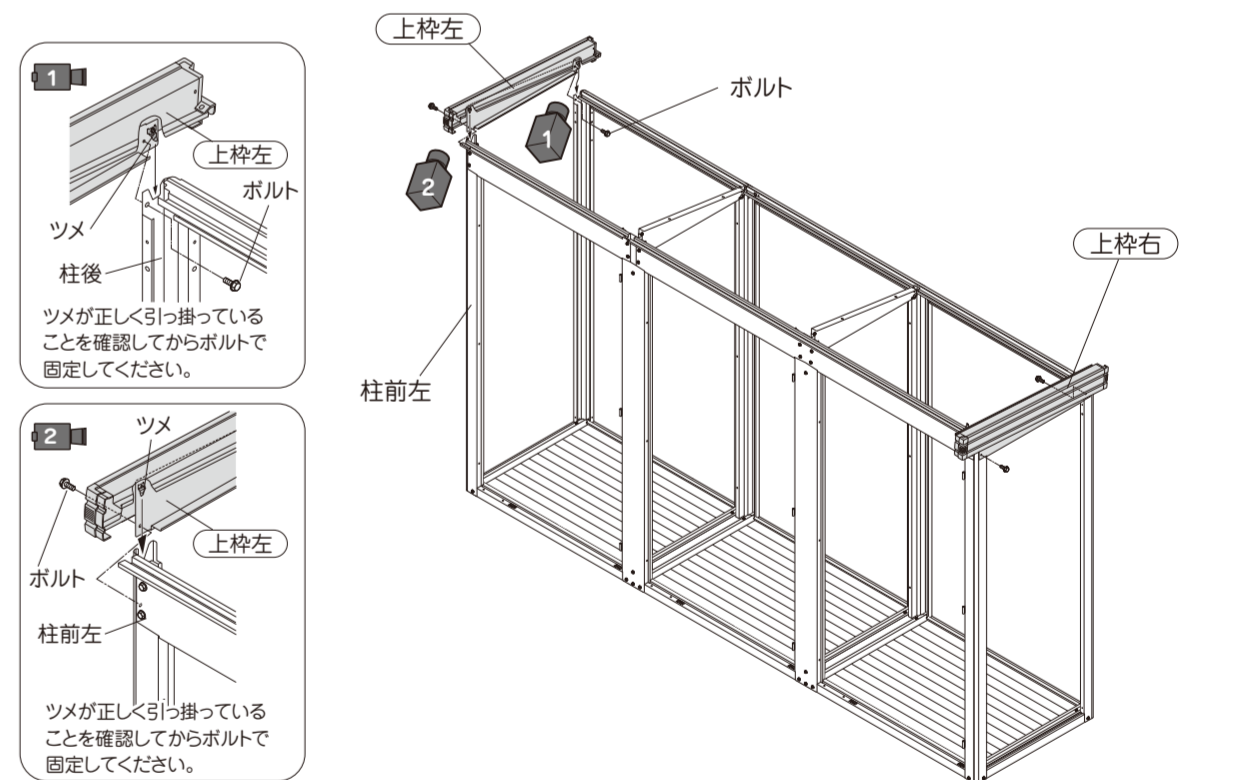
- ① 上枠前 のツメを柱前左・柱前右・中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
- ② 上枠連結化粧前し を中柱前(上枠前の連結部のみ)に取り付けます。
- ③ 上枠後 のツメを柱後・中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



使用梱包 LL5-0157 LL5-0211 LL5-0212 LL5-0218
使用ボルト数 18本

8 上枠左右の取付け

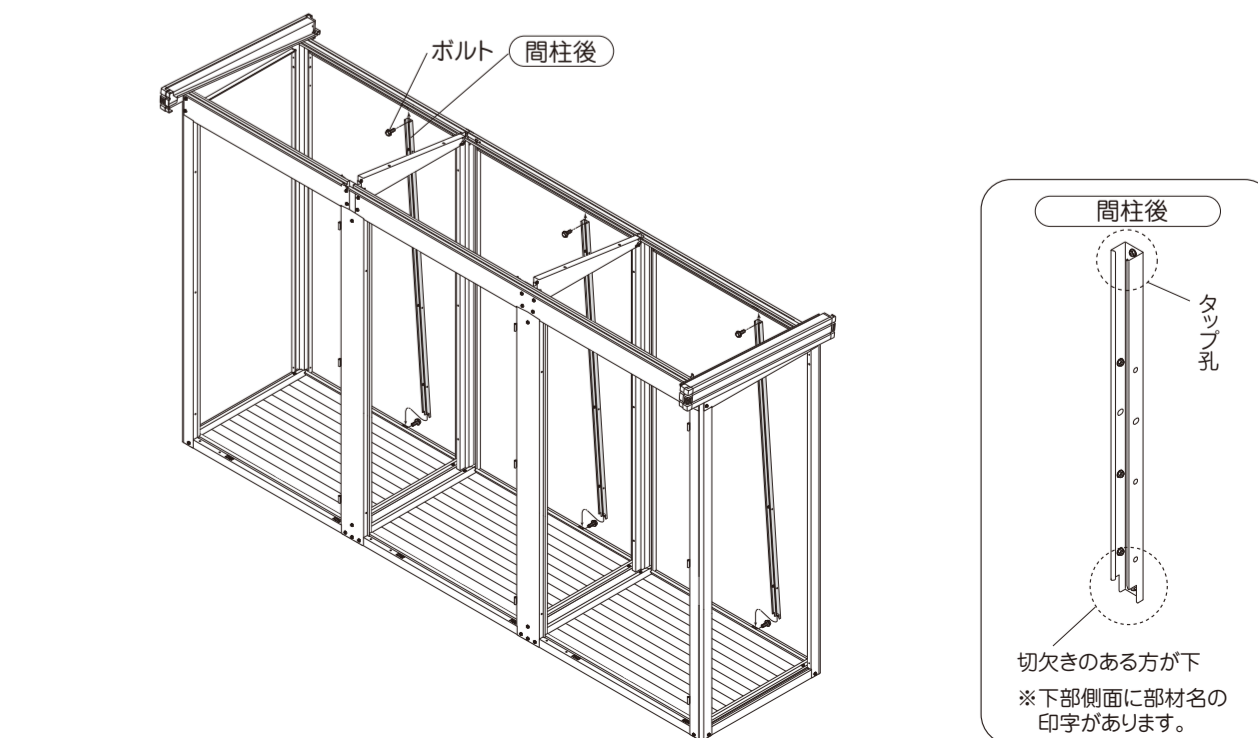
- ① 上枠左・上枠右 を柱に取り付けます。



使用梱包 LL5-0301
使用ボルト数 4本

9 間柱後の取付け

- ① 間柱後 の上端を上枠後に差し込み、次に下端を下枠後に差し込んでボルト止めします。



使用梱包 LL5-0403 LL5-0432 LL5-0432
使用ボルト数 6本

注意 切欠きのある方が下 ※下部側面に部材名の印字があります。

10 屋根連結材の取付け

① 屋根連結材(屋根連結材 NN)を上枠中に取付けます。屋根連結材は上枠前・上枠後の連結箇所を取付けます。その他の箇所は屋根連結材 NNを取付けます。取付け箇所を間違えないようにしてください。

注意 屋根連結材には前後がありますので注意してください。

屋根連結材 NN
ボルト ※下側を2カ所ボルト止めします。

屋根連結材 NN
前後ヘキサート有
屋根連結材 NN
前後ヘキサート無

屋根連結材 NN
先に切欠きがある方が前です。裏面に「前」の表示があります。

使用梱包	LL5-0332
使用ボルト数	4本

11 屋根の取付け

① 屋根を右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。

※裏面に「前屋根」の印字がある方を前にします。

※屋根には700mm幅と350mm幅の2種類がありますが、載せる順番に制限はありません。

屋根
印字 前屋根
左側端部 連結部 右側端部

上枠前 屋根
上枠後

ワンポイント ボルトは仮止めしておくで壁パネル(工程13)が入り易くなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程13)に本締めしてください。

注意 屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が含まなくなり、また漏水の原因にもなります。

使用梱包	LM5-0982
使用ボルト数	LM5-0983 36本

12 壁パネル・袖壁の取付け

①室内から壁パネルをはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)

②柱・間柱にボルト止めします。

③袖壁をはめ込み、上枠・下枠・柱にボルト止めします。

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

○はボルト固定箇所

壁
袖壁
ボルト
上枠前 柱前左
下枠前
ボルト

ワンポイント ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。 ※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の間受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの種類
670mm 319.5mm
袖壁 壁パネルA 壁パネルF

※壁パネルに上下の区別はありませんが、袖壁にはありますので鍵孔が右を向くように取付けてください。

使用梱包	LM5-1003 LM5-1004 LM5-1021 LM5-1022 LL5-1711CB LL5-1712CB
使用ボルト数	81本

13 鼻隠し接続金具の取付け

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプションイセット」の組立説明書先にお読みください。

① 鼻隠し前接続金具を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。**1**

② 鼻隠し後接続金具を屋根連結材の後端部にボルト止めします。**2**

鼻隠し前接続金具
鼻隠し後接続金具
ボルト
上枠前
上枠後

このボルトを緩めて金具を引掛けて締め直します。

使用梱包	LL5-0157
使用ボルト数	6本

14 鼻隠しの取付け

① 鼻隠し前をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。連結部分は鼻隠し前連結化粧樹脂を上からかぶせてボルト止めします。**1**

② 鼻隠し後をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。

③ 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。**2**

鼻隠し前(A1.5)
鼻隠し後(A1.5)
鼻隠し後(A1.5x2連棟)
鼻隠し前連結化粧樹脂
ボルト
ボルト(6か所固定)
壁パネルの中央付近の山が固定位置です。

ワンポイント 上側のボルトは仮止めしておき樹脂に引掛けて締める。

ワンポイント 鼻隠し後と屋根の固定

使用梱包	LL5-0157 LL5-1111 LL5-1112
使用ボルト数	22本

15 上枠固定L字アングルの取付け

① 上枠固定L字アングルを上枠前と柱前右に固定します。上枠前と中柱前も同様に固定します。

上枠固定L字アングル
上枠前 柱前右
上枠前 中柱前
小ネジM4×10

断面図
上枠固定L字アングル 上枠前 柱前右
上枠固定L字アングル 上枠前 中柱前

使用梱包	LL5-0106 LL5-0157
使用ボルト数	バイト小ネジM4×10 6本

16 錠・ラッチ板の取付け

① 錠をドアの表側から孔に入れ、裏から錠の横の溝に合わせてラッチ板をたたき込みます。ラッチ板は最後までたたき込んでください。

注意 必ずドアを吊り込む前に行ってください。蝶番を痛める恐れがあります。

錠
ラッチ板

使用梱包	LL5-0106 LL5-0157
使用ボルト数	0本

17 ドアの吊り込み

① (ドア)を柱前右、中柱前に吊り込みます。

ワンポイント 蝶番は下段⇒中段⇒上段の順番で差し込んでください。

ドア
中柱前 柱前右

ワンポイント ドアは本体に対して90°以上開けた状態で吊り込んでください。

使用梱包	LL5-1711CB LL5-1712CB
使用ボルト数	0本

18 ドア開閉の確認

① ドアが枠材(柱・上枠・下枠)に干渉しないか確認します。

② ドアがスムーズに開閉するか確認します。

ワンポイント ドアが枠材に干渉する場合 屋根・壁の固定ボルトをゆるめて柱前の建ちを修正してください。それでも直らない場合は、基礎の水平を確認してください。

ワンポイント ドアがスムーズに開閉しない場合 蝶番を固定しているビスをゆるめてドアがスムーズに開閉することを確認して締めなおしてください。

19 アームストッパーの取付け

① アームストッパーをドア・上枠前に取付けます。**1**

裏板
アームストッパー
血小ネジM5×16
ドア

ワンポイント 先にドア側を取付けて、次にもう一方を上枠前に取付けてください。

使用梱包	LL5-0106 LL5-0157
使用ボルト数	血小ネジM5×16 12本

20 取手の取付け

① 取手をドアにはめ込みます。

② 庫内からクサビを差し込んで固定します。

取手
クサビ
正面
庫内側

クサビをドアと取手の間にしっかりと差し込んで下さい。

使用梱包	LL5-0106 LL5-0157
使用ボルト数	0本

21 棚板の取付け

① (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

② 棚板を(棚受)の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.5が1棟につき2枚付いています。)

注意 棚板は制限重量を表示している面が上面に見えるように取付けてください。

棚受-N左
棚受-N右
棚板
棚板の手前を差し込む

棚板取付け例
A1.5

使用梱包	LM5-1902
使用ボルト数	0本

22 その他部品の取付け

① ドア裏面の注意・警告ラベルに機種名と鍵No.を記入します。

② (屋根隙間隔しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の、屋根と上枠右の重ね部に取付けます。同様に屋根隙間隔しBを上枠後の、屋根と上枠中の重ね部に取付けます。**1**

③ 銘板を鼻隠し前の右端に貼ってください。

屋根隙間隔しA
屋根隙間隔しB
重ね部
四角形状 屋根隙間隔しA 三角形形状 屋根隙間隔しB

ドア裏面の「注意・警告ラベル」に機種名と鍵No.を記入してください。

機種名・鍵No.をご記入ください。

機種名 非接触ICカード用LED型
鍵No.

YODOKO

以上で完成です。

使用梱包	LL5-0106 LL5-0157
使用ボルト数	0本

MEMO

組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

① ドアの開閉がスムーズにできるかご確認ください。

② 鍵が正常に作動するかご確認ください。

③ 棚板の配置確認をしてください。

④ 機種名が記入されたか確認してください。(ドア裏面の注意・警告ラベル)

⑤ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

チェック欄

①	□
②	□
③	□
④	□
⑤	□

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 取扱説明書、保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

LLD(U)-1108
YODOKO
淀川製鋼
(2016年A制作)